



木造住宅 低コスト 耐震補強の手引き

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会

A工法 用語の定義

■ 受材

継手受材

階高間で、構造用合板を継ぐ場合の下地材

上下受材

部分開口補強で、部分開口になる部分に入れる構造用合板の下地材

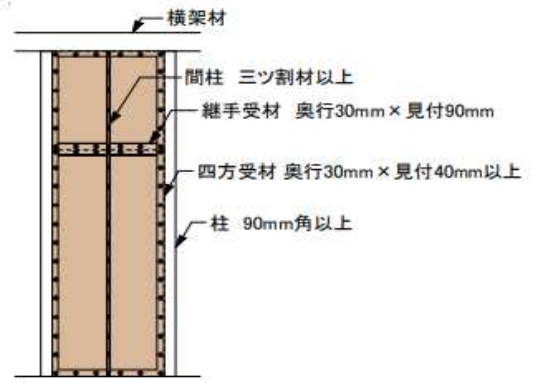
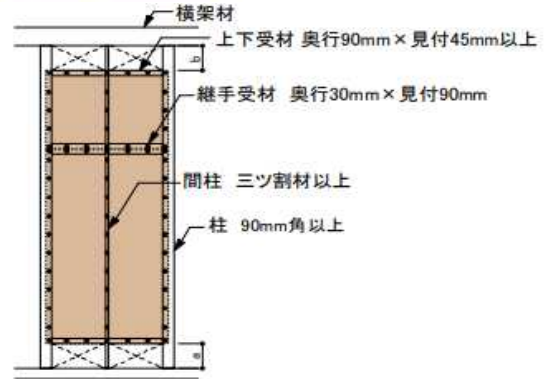
四方受材

真壁で、構造用合板を留めるために柱、横架材の内側に添える部材

■ 下地材の勝ち負け

勝ち順に、間柱 > 四方受材 > 上下受材 > 継手受材

継手受材は、四方受材や間柱に対して、負けとする。



■ 構造用合板への釘打ち

四周打ち

構造用合板を柱、横架材に対して四周に釘打ちする方法

川の字打ち

構造用合板を左右の柱に対してのみ釘打ちする方法

端あき

構造用合板の縁からのあき寸法

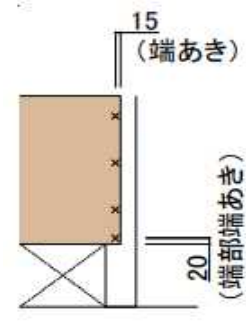
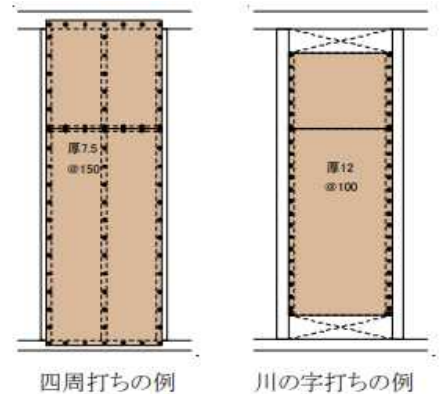
端部端あき

釘ピッチ(間隔)に対する端部のあき寸法

■ 寸法範囲

半間 600mm 以上～1000mm 以下

1間 1820mm を標準とし、2000mm 以下



出典:愛知県建築地震災害軽減システム研究協議会